



鳥取県知事選挙立候補者

平井しんじ

鳥取から時代を開くー未来への礎づくり

この春、平成の御代から次の時代へハトンが引き継がれます。鳥取県発祥の手話言語条例も国2百を超える自治体から制定するなど、鳥取県の政策が全国をリードする分野も生まれています。もう大都市中心の時代ではありません。平成の次の時代は鳥取県がリードする時代です。ふるさと鳥取から新たな時代に全うしたい。幸せの形と、地域の活力を創造するため、未来への礎づくりに挑戦します。

新時代チャレンジGo!Go!(55)

「安心新時代」チャレンジ

鳥取県中部地震(平成30年7月豪雨・台風24号など)も、福島県が被災した地域をあげて復興・復興から、復興を進めることに、防災への備えを固め、健康と命を守る医療や健康づくりを展開します。
●ダム放流での死者ゼロへ実効ある避難対策等を確立
●災害支援物資配送料や支援マップ・福祉避難所Net 119等を整備
●安全を第一とし、周辺地域の意見を踏まえた原簿化など
●河床掘削やため池・流水対策、建物ブロック塀の原簿化など
●GIS(地理情報システム)等の新技術も活用したインフラ等の安全管理、防災対策
●地域包括ケアや買物支援など高齢者の暮らしを応援
●医療的ケア児支援の確立やICTでの不登校等支援など
●安心子育て環境づくり
●とっとり方式認知症予防プログラムの普及など認知症対策支援
●がん死亡率抑制対策を先行し骨髄ドナー支援はじめ患者を支える体制拡充
●健康マイレージ8020運動、まちなかの保健室などを健康長寿の人生へ
●中高年も含めた子育て支援を市町村等と連携し県展開

「おこし新時代」チャレンジ

働き方改革や仕事も新時代を迎えます。農林水産業の生産を拡大し、企業の技術革新、生産性向上への支援を創出し、起業や事業継承を加速します。交通アクセス向上をにらみ、国際リゾートシニアリゾートを推進します。
●農業生産90億円・製造品出荷9千億円に挑戦
●自動車・バイク・食品など成長産業創造プロジェクトで県民所得アップ
●若者・女性・移住者を含めた創業、事業継承支援や知財教育の推進
●技術革新生産性向上(働き方改革等の挑戦企業支援創設) 観光人材研修の創設や建設技術者養成はじめ職業支援
●商工・農林水産IoT・AI等を活用したスマート化
●「星空間」などブランド化推進と特A米・種子条例制定など「コトコト」支援
●「新甘泉」150haや千頭など園芸・畜産振興
●伐木チャレンジプロジェクト推進など農林水産物生産育成
●皆伐再造林着手や森林管理システム支援やHACCP、GAP等取得支援

「こども新時代」チャレンジ

「子育て王国」として「あひサポート運動」を展開し、高齢者や女性も生き生きと活躍する社会を創ります。子どもも能力を伸ばす教育充実、東京オリパラ、関西ワールドマスターズゲームスなど、人が輝く鳥取を創ります。
●全国の「先行子育て支援」に乗り出し児童相談強化など虐待防止も
●学力・体力を真正に育む学校改革と子どもの未来を拓く特色ある高校づくり
●ふるさと教育や出身生ネットワークで若者の鳥取定着

県民とともに進めた改革

- 全国初の手話言語条例制定(全国各地へ波及)
- 「あひサポート運動」創設 障がい者工賃向上も日本一
- 中部地震等の災害で連日現場へ、政府にも要請活動
- 一部事業にも住宅着工費負担軽減を創設
- 商店・道場・林道・観光等へ迅速復興支援
- 全国初の災害ケースマネジメントで福祉的手法導入
- 周辺では全国初となる原簿安全定額結
- 県立中央病院を新築しガン・脳卒中等の医療強化
- 県庁女性管理職率全国一など女性活躍を推進
- 企業や地域と連携し健康マイレージ事業展開
- 拉致被害者受入支援も命めがめが輝く社会づくり
- 「子育て王国」として「あひサポート運動」展開(全国7位)
- 中山間・多子保育無償化と高校まで小児医療助成実現
- シニア人材バンクなど元気シニアの活躍応援
- 選手育成・キャンプ誘致など戦略的スポーツ振興
- 小中学校全学年少人数学級を実現
- 環境大学公立化・看護大学開学など大学確立
- 中小企業2千社超を県産経営革新事業で支援
- 女性等を支援する全国初の県産ハローワーク本格開設
- 未就学児童を創設し県内への若者就業支援
- 新甘泉、和牛など増収で農業生産755億円へ上昇
- 低コスト農業ハウス普及でスイカ最高単価へ
- 松葉初せり餅「わかこ」(世界)イチなど水産振興
- 路網・機械化・人材育成等で木材生産量2倍に
- 香港便開設・ソウル便6便化・DBS航路実現・チャーター便誘致で海外観光客が12倍増
- 羽田便も5便・6便へ飛躍的に増便し乗客増
- 鳥取道・山陰道・山陰近畿道など高速道路整備
- 鳥取道・山陰道・山陰近畿道など空港港湾整備を推進
- 美術展覧会や芸術村など芸術文化の地域づくり
- 「スタバ」はないが日本一のスタバがある。等でPR
- 移住対策で10ターン年2千人超実現
- 2輪のドクターヘリ導入で救命救急体制確立
- 山陰海岸世界ジオパーク認定を実現し世界の山陰へ
- 天皇皇后両陛下・異子御臨幸で全国豊かな海づくり大会・全国植樹祭・大山開山1300年祭を成功
- 任期を通じ実質的借金残高大幅減等の財政健全化
- 「県民参画基本条例」「星空間条例」等の先進条例

平井 伸治

1984年3月 東京大学法学部卒業
1999年7月 鳥取県総務部長を拝命
2001年6月 全国最年少で鳥取県副知事
2007年4月 鳥取県知事選挙初当選(現職)
2015年1月 政府の地方分権推進委員会委員に就任
2016年7月 手話を広げる鳥取の会会長に就任
2018年2月 日本ファームステイ協会会長に就任
【著】 小くとも勝てる「砂丘の国」のポジティブ戦略(中公新書ラクレ)



「民主県政の会」知事候補

福住ひでゆき

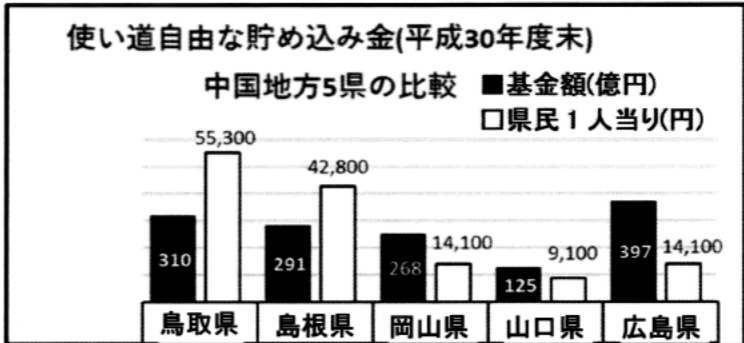
43歳

県政にとりくむ姿勢

- 消費税10%反対。県民の立場から国にモノを言い、県民を守ります。
- 税金は、県外資本・外国企業、ムダな開発ではなく、地元産業の支援に使います。
- トップダウンではなく、市町村・職員と一体になって県民を支援します。
- 地方政治に憲法9条をいかにするため、非核・平和を鳥取県から発信します。

財源はあります

不要不急・ムダな開発、県外・外国企業への支援やイベント・外国観光客誘致事業などを見直し、3600億円の一般会計予算の使い方を切りかえること、使い道自由な基金310億円を活用すること、で県民の要求にこたえる財源をつくります。



ただちに実行します

[1]子どもの医療費 窓口負担ゼロに



子どもたちの病気の早期発見、早期治療のため、市町村が窓口負担ゼロにする場合に、県が2分の1を助成します。全県実施の場合、県の負担2.7億円でできます。

[3]農業・商工業の事業継続を支援

新規就農・起業や事業拡大の時だけでなく、事業を続けられるよう、直接助成する制度をつくります。地域経済を担っている小規模事業者を支えます。

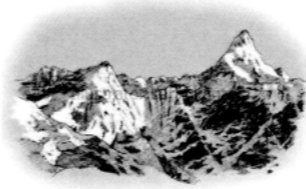
[2]国保料(税)

1人当たり7千円引き下げ

全国知事会は国保料引き下げのため公費1兆円投入を国に要望。国の決定を待たず、県独自に約9億7千万円を投入し、1人当たり約7千円の引き下げを実施します。

[4]原発の再稼働・新規稼働反対 産廃処分場の建設計画を撤回

原発ゼロをめざし、島根原発の再稼働にも新規稼働にも反対します。淀江の産廃処分場建設計画は白紙撤回します。



鳥取県を「人に優しい豊かな共生社会に」したいと思います。具体的には、我国には3,400兆円の莫大な資産：国富がありますから、私は、日本政府を動かして、鳥取県民の皆様の世帯所得を800万円に、鳥取県の最低賃金を「時給3,000円」にしたいと思います。私は、鳥取県の「県政と経済」を改革して、鳥取県の繁栄を図るために立候補をさせて頂きました。



鳥取県には19の貧しい市町村があります

【鳥取県民の皆様へ】

鳥取県の未来のために・・・

私は、現在の鳥取県の「貧困と衰退」を見逃すことが出来ませんので、鳥取県知事選挙に(無所属で)立候補をさせて頂きました。もはや、鳥取県の住民生活と経済状況には【後が無い】からです。鳥取県の一般会計予算は僅か3,183億円で、この数年の内に34%も激減しました。鳥取県のGDP：県内総生産は1兆8,000億円しかありません。鳥取県民の皆様の平均所得は「235万円」で「飢餓所得」と呼ばれるほど低いものです。鳥取県の最低賃金は「時給762円」です。これも「飢餓賃金」と呼ばれるほど低過ぎるものです。私は、このような貧しい鳥取県の「県政と経済」を改革して



井上 洋

鳥取県知事選挙

投票日 4月7日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

(ただし、一部の市町村の投票所では、閉鎖時刻を
繰り上げるところもありますのでご注意ください。)

県内市町村の選挙人名簿に登録されている方が、県内の他市町村に住所を移しても、市町村が発行する「引き続き鳥取県の区域内に住所を有する旨の証明書」の提示等により、引き続き鳥取県内に住所を有することの確認を受けて、投票することができます。

投票に関してご不明な点は、お近くの市町村選挙管理委員会へお問い合わせください。